第　８０　号

平成２３年６月１日発行

寿楽院寺報

〒369-1245 深谷市荒川９８３
高野山真言宗　荒澤山 寿 楽 院
住 職　髙 橋 敬 行
電話　048-584-0302

老人会の奉仕活動

満開の桜の木の本、除草に精を出していただいた老人会役員の方々です。

荒川老人会役員の皆様により、四月十三日聖天様境内がきれいに清掃されました。毎年の、ご奉仕に感謝申し上げます。

業(ごう)

仏教が生んだ日本語

業とは、インドの言葉で「カルマン」という。現代語に訳せば、行為である。身体による行動だけでなくて、心に思うことも、言葉に出して語ることも、すべて行為として理解した。いわゆる身・口・意の三業である。だがカルマンを行為と訳すのと、業と理解するのとは、意味がよほど違う。

ある行為が、煩悩につき動かされてなされるとき、それを「業」と呼ぶのである。

寿楽院新旧総代の皆様により3月28日交代の引継ぎが成されました。
今後とも寿楽院護持発展にご尽力くださる皆様です。

空海の言葉シリーズ

大士の用心は同時これ貴ぶ

●●●菩薩の心構えは、相手と同じ目の高さになって対応することこれがいちばん貴いことである。

この世の中で最も大切なことは対人関係です。人はときどき、他の人との対応に失敗して、泣かされたり、悩んだり、悲しんだり、落胆したりします。

対人関係についての大ベテランは菩薩さんです。

「菩薩さんはいつも〝布施〟〝愛語〟〝利行〟〝同事〟という四つのこと(四摂法)を心がけています」

布施というのは〝施し〟真心を差しあげることでもあります。

愛語というのは〝やさしいことばづかい〟です。身内が亡くなって悲しみのどん底にいるときや、倒産して、みんながそっぽを向いているときに、心のこもった、思いやりのあることばを聞くと、つい涙ぐんでしまいます。とくに人の上に立つ者は、とげのあることばをつかってはいけません。

利行というのは〝他人の利益になるようなことをする〟ことです。人の迷惑になることをしないことも、利行の一つです。

同事というのは〝その基本は、相手の身になって考えてあげる〟ことです。我が身をつねって人の痛さを知れ、また、自分の考えをことばに出しても、人は、別の受けとめ方をすることが多いものです。そこで、いつも相手の目の高さに自分の目をもってきて、話をするのがいちばんよい。これが〝同事〟です。